学校番号	３０１６

令和３年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅰ」（教育図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

漢字・仮名の書で学習した内容を踏まえつつ、作品制作を通して、より幅広い文字表現を学びます。かつ、古典を通して文字表現の多様性を学ぶことで先人が築き上げてきた文化を実感しつつ、現代における意義ある芸術活動としての書表現の方法を理解し、習得しましょう。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。古典を通して書のさまざまな美について学び、書風を理解し制作することができる。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を活かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 5月 6月	漢字の書	楷書の古典を学ぼう	○	○			a：さまざまな楷書の古典の美とその技法に関心を持ち、表現方法を高めようとしている。筆者の感興や意図と字形や線質との関わりに関心を持ち、意欲的、主体的に漢字の美を味わおうとしている。 b:楷書の構築的な構造や変化と統一などを理解し、字形の構成や全体の構成を工夫している。 c:楷書の基本的な点画や線質の表し方と用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけ表している。 d:さまざまな楷書の古典の美とその技法について理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
7月 8月	漢字の書	楷書の古典に表現を学ぶ		○	○		a:楷書の古典のよさや美しさに関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 表現の構想から完成に至るまで、意欲的、主体的に表現活動に取り組もうとしている。 b:楷書の古典の美しさを感じとり、自己の表現の狙いを達成するために、自らの表現意欲を高め、表現を工夫している。 c:古典のよさや美しさを生かして表現する技能を身につけ表している。 用具、用材の特性を生かした表現効果を理解し、表現に応じた用具、用材を効果的に選択している。 d:古典のよさや美しさを生かして表現することを理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

9 月 10 月	漢字の書	行書の古典に学ぼう	○	○			a:さまざまな行書の古典の美とその技法に関心を持ち、表現方法を高めようとしている。筆者の感興や意図と字形や線質との関わりに関心を持ち、意欲的、主体的に漢字の美を味わおうとしている。 b:行書の美とその技法を学び、古典に応じて表現の違いがあることを理解し、表現技法を工夫する。 c:行書の基本的な点画や用筆・運筆の関係を理解し、創造的な表現を身につけ表している。 d:さまざまな行書の古典の美とその技法について理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品
11 月 12 月	作品制作	作品制作 表具			○	○	a:他者の作品を鑑賞し、それぞれの表現意図に迫ることで書表現の幅広さや自己を表現することの意味を創造的に味わうことができる。 b:基礎的な技術をもとに、自身の感性に適した書法や文字造形を工夫する。 c:自身の作品について、選文した理由や制作意図等を客観的に説明することができる。 d:線質、字形、紙面構成の工夫など創作における効果的な表現を理解している。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

1月 2月 3月	作品制作	・自由課題による作品制作 ・仮名を生かした作品制作			○	○	a:様々な表現方法に触れ、くらしの中に書を生かそうとしたり、くらしに生きる書に関心を持っている b:書道の学習で身につけたことをいかして、くらしの中に書を生かす工夫をしている。 c:書道の学習で身につけたことを生かし、くらしの中に書を生かすことができる。 d:作品制作を行うことや発表し、創造的活動のよさを理解し、幅広い書の活動に興味関心を持ち、鑑賞への意欲を持っている。	観察 レポート ワークシート ポートフォリオ 提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
　　c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。